863
7

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7

ガラス使用

863-7

帝国図書館

松前魯西亜船渡来之記

文化三年寅九月廿日ニやつ半時分ニ文化元子年
よりの書物渡ル 寅三月十九日の物語申聞候
辰年より申年迄の御書物御渡し申候
子ノ十月
正月廿五日ニ佐兵衛殿ニ

書林 丁子屋清七

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7

ガラス使用

川侍監仰高知通り
西鮮右ノ報、幕府
内村止ラス幸掉佐ノ国
右ノ前件松前ニ有合用ノ
右ノ通仰下ラルヽ事ヲ
松前ニ
一松前表ヘ魯西亜船来ル事
没ノ月ノ初ノ頃通家迫
陸ニ乗上ケ通家迫
陸ニ乗上ケ候ヨシ松前ヨリ
カフト島人ヲ召連
ト申ノ上ニ松前表ヘ魯西亜船
ハシメ也通詞ハ
漂流
異国船ヲ以テ
右ニ魯物モ
解ニ付物頭
来リ候ニ付右漂流
直ニ引取ノ

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7

ガラス使用

右於箱館
一金十枚
（肝煎二人）
一日
一日
右御用地に而
御物御
右筆間者
御差添
一金十枚
御勘定吟味役
林
磯部主馬
西村
右於箱館之御手当
梅村

右城田梅蔭松
小縁を以仲間
右於座敷
御少人目録
田多門伝蔵
小林勘兵衛
小村弥十郎
深尾伴八
古沢半蔵

右通詞
堀儀兵衛
金子与市郎
近藤重蔵
森山源五郎
荒木
村上貞助
馬場為八郎
一和田泰蔵
原田敬作
吉雄忠次郎
猪俣

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7　　ガラス使用

一仏行家之衣指之通

陸地事行人

小人十人

高橋喜左衛門

井上清兵衛

長柄農次郎

物沢

荷駄持

物沢

旧

吟味役

徒目

今村源五郎

浅能兵衛

綾田源平

小野塚多

大井忠助

大山兵助

筆文箱人

戸塚文治

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7

ガラス使用

別手組
三浦按針
外科通
外科那
陸場は
前ニ同ク十六人ニ陰ヨリ二人ヲ
中川安兵衛
加藤市兵衛

右之外沙施傳統代
軍將軍長柄長柄傳
至近く歸也
軍將
軍將
右之外沙施筆者村野筆者
根岸傳筆者
根元正筆者
物頭

右之
貝降
供筆
二筆
金鍛冶源七
筆者
沙施筆者
根岸傳筆者
石井榮次
根岸喜筆者
林
正筆者

軍將大鳥圭介
従士五十人
大筒役六人
歩兵七人
砲兵七人
工兵五十人
右之外定役之者
荷駄付添乗組
新造船人数
惣人数
其外妻子
右之通りの
積を以
浦賀表
出帆
右黒船十五人
乗組
浦賀奉行方
役人
当表
右之通
浦賀表
出帆
右黒船
乗組
当表
出帆

松前より松前
より文化四年五月
寛政十年松前
再び松前陸奥地一条
こと

當時寛
題蝦夷地別条
夷人不相識
寞浸愁治魅

無言絶句
當座為金銀
老中自無関

當時連艘舟
送君蝦夷地

庭送若刈
由来世上傳
迷惑滿服前

書漢八七二冊
林 丁子屋清十

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』 請求記号 863-7
ガラス使用

863
7

国立国会図書館　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『松前魯西亜船渡来之記』　請求記号 863-7

ガラス使用